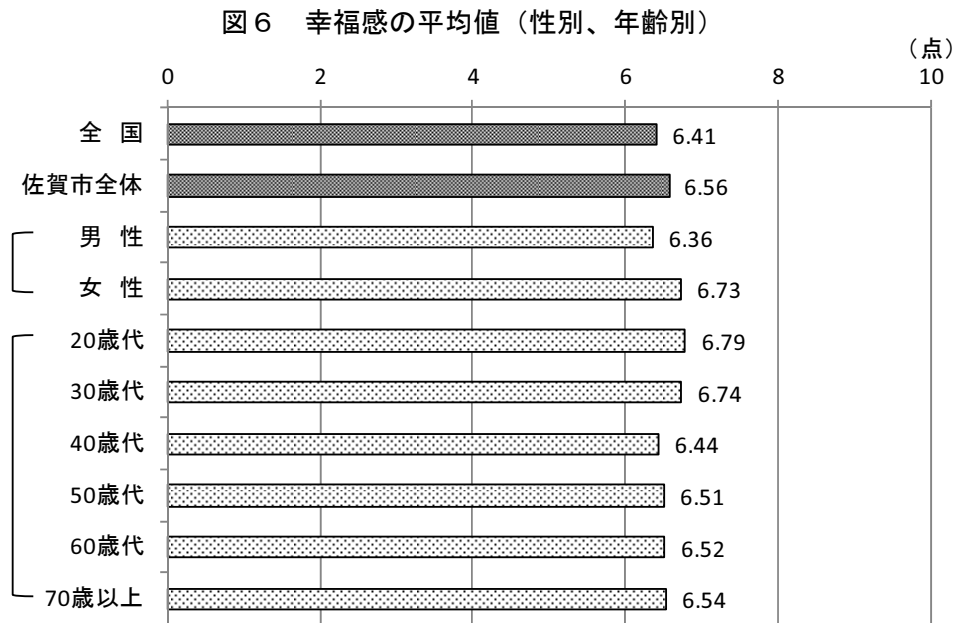


3. 「幸福感」の現状

現在の幸福感について、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として点数付けした。

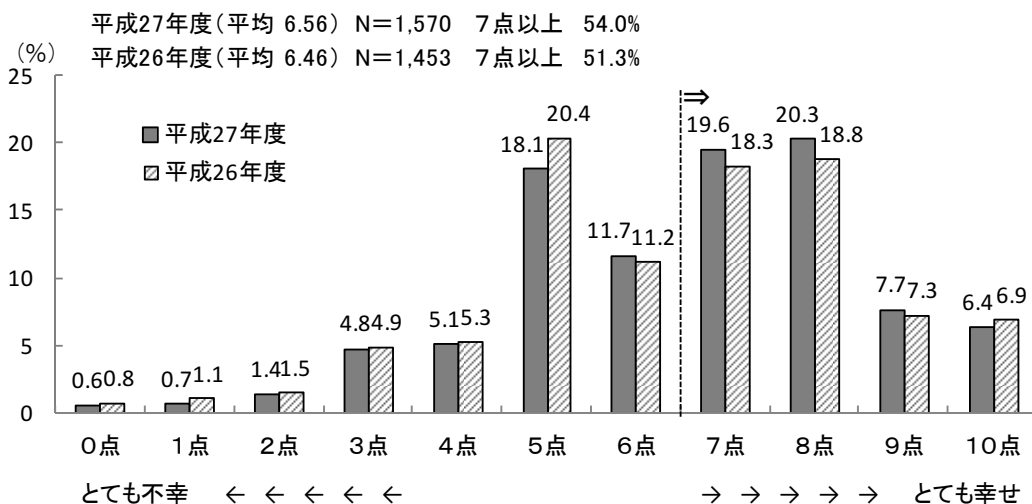
佐賀市全体の幸福感の平均値は6.56点で、前年度(6.46)からやや上昇したものの大きな変化はみられない。また、内閣府が平成23年度に実施した「国民生活選好度調査」での平均値(6.41点)と比べると、佐賀市全体の方が若干幸福感の平均値は高くなっている。

幸福感の現状をみると、8点(20.3%)、7点(19.6%)、5点(18.1%)と回答した人が多く、7点以上が全体のほぼ半数を占めている。とても不幸だと回答した人は少なく、0～2点で2.7%となっている。



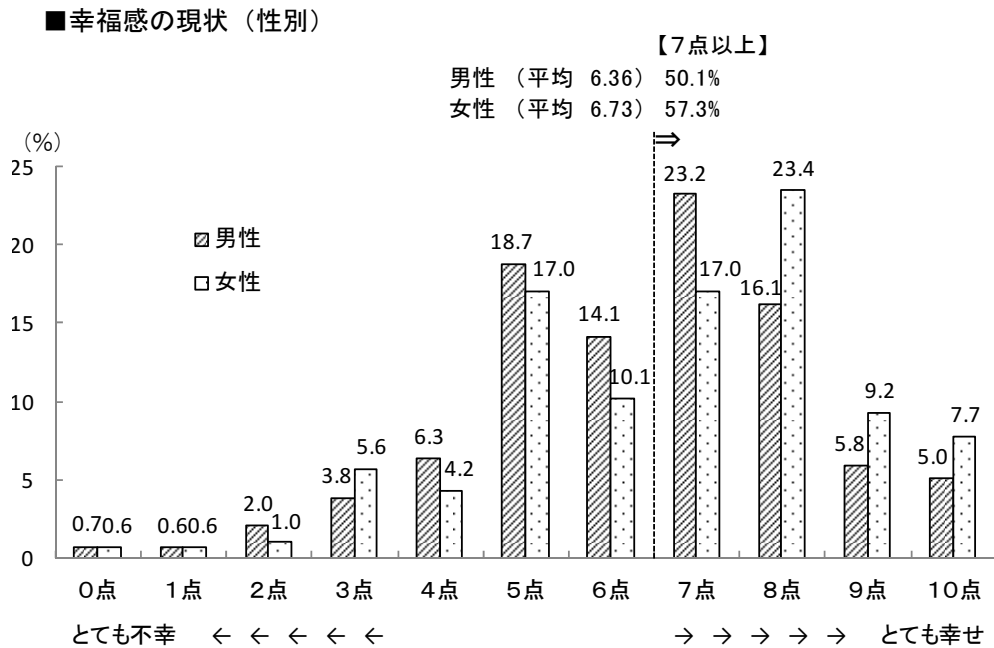
(注) 全国の数値は、内閣府が行った「平成23年度国民生活選好度調査」の数値

図7 幸福感の現状



3. 「幸福感」の現状

幸福感の現状を性別でみると、平均値は女性の6.73点に対し男性は6.36点と、女性の方が幸福感は高い。7点以上の幸福感があると答えた人は女性57.3%に対して男性50.1%と、7.2ポイントの差がある。特に8点以上ではその差が13.4ポイントと大きい。



年齢別の幸福感の平均値をみると、20歳代（6.79点）と30歳代（6.74点）が全体の平均値（6.56点）より高くなっている。また、7点以上は20歳代が61.9%と最も高く、年齢が上がるほど低くなる傾向にある。前年度と比較すると、30歳代以下と50歳代で7～10ポイント増加している一方で、60歳以上ではやや減少している。

